

下水道事業会計決算

2億405万円の単年度損失

平成20年度の収入は11億1395万円、支出は13億1800万円、差し引き2億405万円の単年度純損失となりました。これは、下水道事業が建設途中のため、使用料収入が十分に見込めないためです。

市内には、まだまだ下水道が整備されていない地区があり、これからも多額の事業費が必要です。そのため、今後も経営の安定と健全化を図るため努力していきます。

処理状況

| | |
|---------|------------|
| 行政区域内人口 | 81,563人 |
| 処理区域内人口 | 32,994人 |
| 普及率 | 40.5% |
| 水洗化人口 | 24,416人 |
| 水洗化率 | 74.0% |
| 年間処理水量 | 2,428,289㎡ |
| 年間有収水量 | 2,291,162㎡ |
| 有収率 | 94.4% |

平成20年度に整備した地区

大館地域の東台、清水町、中道、比内地域の味噌内、田代地域の赤川などの一部

新たに下水道が使えるようになった面積 48ha

水洗化にご協力ください

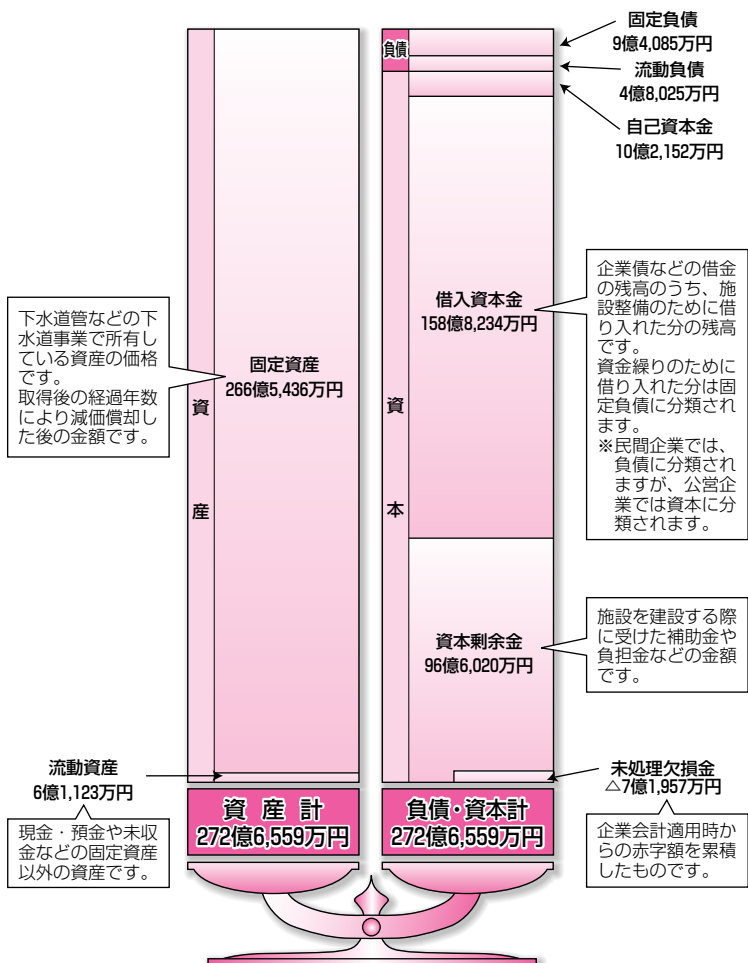
下水道を整備するとトイレの水洗化が進み、家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などの水質がきれいになります。

環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみで水洗化を進めましょう。

この施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などで賄われています。

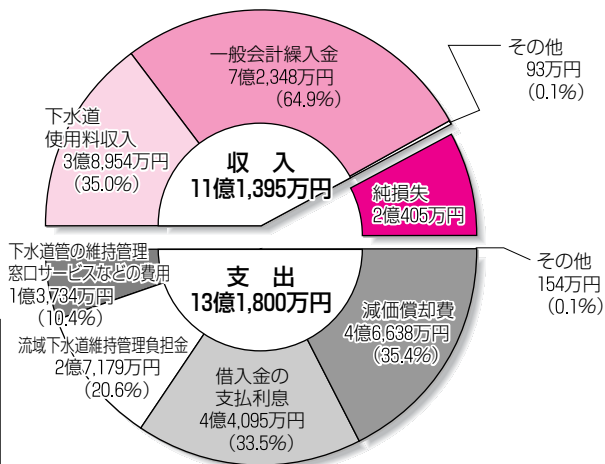
平成20年度 大館市下水道事業貸借対照表

(平成21年3月31日現在)



収益的収支 (消費税抜き)

〈事業の運営に関する収支〉



資本的収支 (消費税込み)

〈施設の整備に関する収支〉

